

朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」

出演 泉ピン子 村田雄浩

2023年11月5日(日)

会場：アルカス SASEBO イベントホール



毎日が一生懸命、
頑張って、生きていく

「愉快痛快」と日本を元気にした
内館牧子のベストセラー小説完全舞台化！

原作 内館牧子 (講談社文庫)

脚本 笹部博司

作曲 宮川彬良

内館牧子先生の原作に 惚れちゃったんです。

ほんとに面白い本なんです。何度も繰り返し読みました。その度に面白いんです。

この本はどれほどたくさんの人を元気にしたのだろうと思っていました。

ヒロイン忍ハナは、「先は短いのに、先は長い」これからの人生をどう生きていけばいいかを考えます。そしてこう思っています。

「毎日が一生懸命、それしかできない。毒舌、それしかできない。頑固でわがまま、意地悪、それが私。もうすぐを、終わりの見えない、もうすぐを、気合と努力で突っ走る。もうすぐを、毒をまき散らしながら生きてやる」

そんな時、息子の雪男が酒屋での角打ち(立ち飲み)を提案します。その提案に、娘も孫も嫁も大賛成。ハナは「わたしはもう年だから」と断る体をみせますが、内心では飛び上がるほど嬉しいのです。

「得意の酒で、こんなことが出来るとは。店の安い商品で男たちの疲れを癒せたら、社会のためにも役に立つ。酒の肴として話せば、うっとおしくない。そしてみんなで「衰退」を受け入れる準備ができる」

泉ピン子も、自分に出来ることは何だろうと考えました。そして、こう思いました。みなさんに喜んでいただける作品を届けることしか出来ない。これまでの感謝をこめて、お礼行脚のつもりで、全国のみなさまのもとへ、ピン子が行く。たくさん笑って、ほろりと泣いて、ああわかるわかる、と共感していただく舞台を作る。内館牧子先生の原作にほれちゃったんです。私はこの作品からたくさんの勇氣と元気をもらいました。ではこの命にあふれた本音の女、忍ハナを精一杯演じることで、私をみなさんに元気を届けよう。私の女優人生の集大成にしよう。初めての朗読劇です。みなさま、どうか私の挑戦を見届けにいらしてください。

泉ピン子

朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」

「すぐ死んだから」の物語は、さっぱり消える読み心地でした。(70代・女性)

読んで思わず鏡の前に立ちました。(60代・女性)

もうすぐ定年ですが、新しい人生への希望と勇氣をいただきました。(60代・男性)

一字一句が人生訓。牧子節炸裂の「発かます」は私もやってみたい。(50代・女性)

没イチになって四年。人生まだまだこれからと意欲が出てきました。主人公の毒舌は私の言いたいことと同じです。(70代・女性)

何十年ぶりに小説を「一気読みしました」。(80代・女性)

身につまされるが文句なく面白い！(70代・男性)

これほど愉快、痛快で、共感、共鳴できる本に巡り会ったことはありません。(80代・女性)


出演 | 泉ピン子 村田雄浩
原作 | 内館牧子 『すぐ死ぬんだから』(講談社文庫)
脚本 | 笹部博司
作曲 | 宮川彬良

※講談社文庫「内館牧子「すぐ死ぬんだから」特設サイトより

11月5日(日) 開場14:30 開演15:00 アルカスSASEBO イベントホール

【全席指定】一般 7,500円 U25(25才以下/20席限定) 5,000円(当日500円増)

ジャパネットの文化祭
5組10名様を無料ご招待
ご応募詳細はコチラをご覧ください



アルカスクラブ先行発売 7月29日(土) 一般プレイガイド発売 8月5日(土)

[前売券取扱] アルカスSASEBO、チケットぴあ(Pコード518-698)、ローソンチケット(Lコード83464)、イープラス(<https://eplus.jp>)

※U25のチケットは、アルカスSASEBO窓口のみの販売です。購入時には、年齢の確認が出来る証明書等の提示をお願いします。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※やむを得ず公演が中止または延期、出演者など内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

[主催・お問い合わせ]
アルカスSASEBO(佐世保市、公益財団法人佐世保地域文化事業財団)
第2・4水曜日休館 TEL0956-42-1111 <https://www.arkas.or.jp>



私達は、アルカスSASEBOの文化事業への協賛を通して地域文化の振興を支援するオフィシャルパートナーです。

